

位置付け	高齢者支援計画 R3-R5	令和4年度在宅医療介護連携推進事業実施計画						令和5年度在宅医療介護連携推進事業実施計画
対象	介護保険：要介護・要支援認定者、総合事業対象者、障害者							
理念	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心・安全に自分らしく生活ができる。希望すれば、最期は自宅で亡くなる事ができる							
目標	在宅療養者を人生の最期まで支える24時間365日緊急対応可能な医療と介護の連携システムの構築を図る							
中期目標	1 医療・介護職が連携・協働し、在宅療養を支えるチームを作る 2 在宅・施設での看取りを増やす 3 病院・施設・在宅の連携を深める	短期目標	1-① 医療・介護の専門職の顔の見える関係作りの体制を構築する 1-② 医療・介護の専門職の知識・技術が向上する 1-③ 医療・介護の専門職がスムーズに情報共有できる 1-④ 医療・介護の専門職が支援に対する不安を払拭する 2-① 市民が在宅療養について理解する 2-② 施設での看取りを増やす 3-① 切れ目のない円滑な入退院支援の体制を構築する	プロフィール	・認知症（連携不可欠な困難事例を含む） ・入退院時の連携			
PDCAプロセス	手引き*1項目	担当	令和4年度在宅医療介護連携推進事業実施計画	短期目標	場面	令和4年度評価	今後の検討事項	
現状分析	ア 地域の医療・介護の資源の把握	流山市	GISを活用した介護保険事業者情報を更新する。	1-③	日常	GISを活用した介護保険事業者情報の更新した。	必要に応じて更新していく	
		全体会・流山市	地域住民の在宅医療・介護へのアクセスの向上を目的に、ホームページの掲載内容を検討する。			地域住民の在宅医療・介護へのアクセスの向上を目的に、ホームページの掲載内容を検討中。	地域住民の在宅医療・介護へのアクセスの向上を目的に、ホームページの掲載内容を検討する	
		流山市	医師会による訪問診療をコーディネートする取り組み（「地域在宅医療体制構築支援事業」）の継続。	3-①		医師会による県の「地域在宅医療体制構築支援事業」の利用は終了となった。		
課題抽出	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	全体会・流山市	令和4年度在宅医療介護連携会議（年5回）の全体会での検討事項（予定） ・新型コロナウイルス感染症対策 ・つむぐ会の活性化について（開催方法・周知方法、参加者構成を見直し） ・情報共有システムの効果的な運用について ・在宅療養の現場における救急対応の現状把握（情報収集と共有） ・連携や取組みに対する指標の設定について ・各職域の活動紹介	共通	共通	在宅医療介護連携会議を年5回開催し、以下の内容について検討した。 ・事業計画および評価指標の設定 プロフィールを「認知症（連携不可欠な困難事例含む）」「入退院時の連携」と設定。評価指標の見直しを実施。 ・つむぐ会の活性化について 内容や方法の検討や、時間帯を固定しないなど、より多くの人が参加できるような工夫が必要である。 ・情報共有システムの有効活用について システムの使いやすさやそれぞれの事業所の記録システムとの連動などがネックとなっているのではないか。 ・急変時の対応について 情報共有やACPの普及、対応方法が定まっていないことなどが課題であると分析。 ・各職域の活動紹介	在宅医療連携会議での検討事項 ・急変時の対応についての取り組みを検討 ・情報共有システム ・各職域の活動紹介の発表をカナミック場へ掲載 ・事業評価について	
施策立案	ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	多職種連携・体制構築部会病診施設連携班 全体会・流山市	入退院時の多職種連携についての課題を抽出し、具体的な施策を検討する。	3-①	入退院	仕組みづくりではなく、まずは顔の見える関係づくりを構築することが先決となると話し合った。	入退院連携における相談しあえる関係づくりの構築に向けた具体的取り組みについて	
			救急搬送についての情報収集、現状分析を行う。			急変時	第4回連携会議にて現状把握および課題について検討。（情報共有やACPの普及、対応方法が定まっていないことなどが課題であると分析）	具体的取り組みの検討。
			・特養施設の意見交換会の開催方法について検討する。	2-②	看取り	シルバーサービス事業者連絡会入所施設部会実施の看取り状況についてのアンケートの結果を共有。	アンケート結果を受けて具体的取り組みを検討。	
			・流山市在宅医療介護連携会議委員に高齢者施設の登用を検討する。 ・看取り症例検討会の開催について検討する。			第4回連携会議より委員に高齢者施設の長を登用。（在宅及び施設の看取りにおいて、高齢者施設に従事する職域の意見を徴することが必要と見込まれたため） ・12月に在宅看取り推進のためのチーム作りとして、症例検討会を開催した。（助言者6名、参加者22名） 実際にチームの結成につながるものとはならなかったが、継続していくことで、地域に広がり、在宅療養の推進の一助になり得るのではないかと。 ・入退院時の多職種連携についてのアンケート結果をふまえ、課題を抽出し、具体的な施策を検討中。	・在宅看取り症例検討会の開催方法をつむぐ会や地域ケア会議との連携も視野に検討していく。 ・入退院時の多職種連携に関する課題を整理し、対応策を検討する。	
工 医療・介護関係者の情報共有の支援	多職種連携・体制構築部会 情報共有支援班 または流山市	ショートステイ・訪問リハビリテーションの空き状況の掲載やケアプランチェック等、情報共有システムの効果的な運用方法にむけて検討する。	1-③	日常	○情報共有システムの活用について ・ショートステイ、訪問リハビリテーションの空き状況の掲載について検討。（ショートステイの空き状況については、アンケート調査を実施し、集計中。） ・災害時発生時の介護保険サービス事業所間での迅速な情報共有を図るための部屋を作成。 ・手続き簡略化のため申請書、手引き等を改正。	効果的な運用に向けて検討する。		
		情報共有システム研修会を開催する。	1-③		3月に情報共有システム研修会を開催予定。	研修内容、方法について、必要時全体会で検討する。		
		「医師会連絡可能一覧表」等の更新についての方向性を決めるため、アンケートをもとに利用状況を把握する方法を検討する。	1-③ 3-①		更新の必要性について検討中。	更新及び有効活用方法について検討する。		
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	流山市	現状継続。	1-④	日常	対応件数：1件	現状継続。		
対応策の実施	カ 医療・介護関係者の研修	研修・啓発部会 専門職研修班	介護と医療をつむぐ会（年5回開催）：テーマと内容を検討する。 ・第1回（6月）…看取りをテーマに開催予定 ・第2回（8月）…「高齢者住まい看取りケア研修会」を開催予定 ・第3回（10月）…市民公開講座として開催予定 ・第4回（12月）…未定 ・第5回（2月）…未定	1-① 1-② 2-②	日常 看取り 他	・介護と医療をつむぐ会を年5回開催し、多職種でグループディスカッションを行った。 ・第1回（6月）「～流山市の看取り事情～施設の看取り在宅の看取り事例紹介」（83名未参加）（Zoom） ・第2回（8月）「高齢者住まい看取りケア研修」（2回開催計37名参加）（第1回：VR体験会 第2回：Zoom） ・第3回（10月）：市民公開講座「今から考える老い支度～親の支度と自分の支度～」をテーマに講演会を開催。参加者73人（内17名が専門職）（会場参加とZoom参加のハイブリット開催） ・第4回（12月）：在宅看取り推進のためのチーム作りとして、症例検討会を開催。（助言者6名、参加者22名）（Zoom） ・第5回（2月）：「入退院支援における多職種連携～相談できる関係づくり～」（参加者44	内容や開催方法、周知方法について検討する。	
			市民公開講座（10月開催）：テーマ、内容等を検討する。	2-①	看取り	市民公開講座「今から考える老い支度～親の支度と自分の支度～」をテーマに講演会を開催。参加者73人（内17名が専門職） 老い支度という身近なテーマであり、ACPの大切さも伝わるきっかけとなる内容であった。これから親の介護や老後の課題に関わる世代へ情報提供する機会となることを目的とし、中学1年生保護者へ学校を通じチラシを配布したが、若い世代の参加は少なかった。	開催に向けて、テーマや内容、開催方法を検討する。	
			おうち療養情報紙（3月発行）：テーマ、内容等を検討する。			12月に開催した市民公開講座の内容や市内最高齢で介護サービスを利用しながら在宅療養を継続されている方のインタビュー等を掲載し令和5年3月発行。	発行にむけて、テーマや内容、開催方法を検討する。	
キ 地域住民への普及啓発	研修・啓発部会 市民啓発班 または流山市	出前講座の実施			3回（5月、6月、7月）開催し、68名が参加。	出前講座の内容、開催方法、周知方法について検討していく。		
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	流山市	・東葛北部5市会議の開催（幹事市）。 ・同会議にて、病院連携窓口一覧表を必要時、更新する。	広域連携	その他	・東葛北部5市会議はオンライン上で開催され、2回（7月、1月）開催 病院連携窓口一覧表を更新。	病院連携窓口一覧表の活用について検討。		

※1 在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 3 厚生労働省老健局老人保健課 令和2年9月